

レディーズNOW



茨城県女性連HP

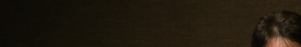
----- 商工女性は今 -----
茨城県商工会女性部連合会
水戸市桜川2丁目2番35号
電話 (029) 224-2635
FAX (029) 226-0955
発行者 宮 本 枝
女性部員数 2,733人

創立45周年記念式典

県商工会女性部連合会（宮本正枝会長）は10月24日に水戸プラザホテルにおいて創立45周年記念式典を開催した。

県内商工会女性部員約400名が参集し、中山副会長の開式のことばで開会。続いて、主催者を代表して宮本会長が挨拶し、県商工会女性部連合会の今日までの歩みと魅力ある持続可能な女性部を目指すための抱負などを述べた。

次に県内



商工会女性部並びに県商工会女性部連合会の発展に寄与された商工会女性部長23名に、これまでの功績に対する感謝状が贈呈された。

部員増強に係る茨城県商工会連合会からの特別表彰では、商工会女性部の部・全国第1

部員増強に係る
茨城県商工会連合
会からの特別表彰
では、商工会女性
部の部・全国第1

宮本会長が挨拶し、県商工会女性部連合会の今日までの歩みと魅力ある持続可能な女性部を目指すたのめを抱負なを述べてた。

次に県内



講演する知事



あいさつする宮本会長



熱心に講演を聞く商工会女性部員

位である常陸太田市商工会女性部、全国第3位である下妻市商工会女性部、都道府県商工会女性部連合会の部・全国第1位である茨城県商工会女性部連合会が受賞した。

また、商工会女性部としての活動が地域活性化に顕著であると認められた9商工会女性部に、特別表彰の贈呈が行われた。

その後、受賞者を代表して、常陸太田市商工会女性部の和田部長から謝辞があり、受賞に対する感謝の意と、今後の新たな決意の表明がなされた。

続いて来賓の小川県連合会会長か

ら、これまでの女性部に対する敬意とこれからの女性部に対する期待を込めた祝辞が述べられた。

引き続き行われた令和5年度いばらきレディースカレッジでは、茨城県大井川和彦知事を講師に迎えて「茨城県政について」をテーマに記念講演を開催し、茨城のこれからについて、ユーモアたっぷりにお話しただき、会場の皆さんは笑顔で熱心に聞き入っていました。

たつぷりにお話し
いただき、会場の
皆さんは笑顔で熱
心に聞き入ってい
た。

続いて来賓の小
川県連合会会長か



宮本会長と発表者の皆様



最優秀賞に輝いた鈴木さん(下妻市)

女性部
主張発表大会

鈴木幸子さん（下妻市）が

2月7日、つくば国際会議場において第20回茨城県商工会女性部主催発表大会を開催し、女性部員約400人が参加。

6地区の代表女性部員6名が日頃の女性部活動や地域振興まちづくりへの思いを主張。審査の結果、「変化を受け入れ新しい風をつかめ」と題して変化した女性部活動の取組みや姿勢について発表した下妻市の鈴木幸子さんが見事、最優秀賞に輝いた。

発表は、若手部員勧誘の際に気付いた若手が求めている「社会貢献」や「SDGsの達成に寄与できる活動」を事業の柱に据え女性部活動に取り組んだこと、昨夏に英字新聞エコバック作製に取り組み、SDGsに貢献することから、社会貢献や個性や多様性を受け入れる姿勢について力説した。

優秀賞は村田知世さん（北茨

発表は、若手部員勧誘の際に気付いた若手が求めている「社会貢献」や「SDGsの達成」に寄与できる活動」を事業の柱に据え女性部活動に取り組んだこと、昨夏に英字新聞エコバック作製に取り組み、SDGsに貢献することから、社会貢献や個性や多様性を受け入れる姿勢について力説した。

優秀賞は村田知世さん（北茨

城市)「SDGsに根ざした小さな取り組み」、優良賞に山田弘子さん(河内町)「キラリと光る女性部として、エンジョイしましょう!」、敢闘賞は柴沼郁子さん(茨城町)・門井みち子さん(銚田市)・初鳥恵子さん(かずみがうら市)がそれぞれ受賞した。

なお、最優秀賞を受賞した下妻市の鈴木幸子さんは、令和6年7月9日に栃木県宇都宮市で開催される「関東ブロック主張発表大会」に茨城県商工会女性部の代表として出場する。「全国大会出場」を目指し頑張っていただけでなく女性部員一同、健闘をいのる。

大会終了後、茨城県営業戦略部プロモーションチーム渡邊一彦副参事を講師に迎え、「茨城県の魅力発信について」をテーマに講演会を実施した。

なお、最優秀賞を受賞した下妻市の鈴木幸子さんは、令和6年7月9日に栃木県宇都宮市で開催される「関東ブロック主張発表大会」に茨城県商工会女性部の代表として出場する。「全国大会出場」を目指し頑張っていただけでなく女性部員一同、健闘をいのる。

大会終了後、茨城県営業戦略部プロモーションチーム渡邊一彦副参事を講師に迎え、「茨城県の魅力発信について」をテーマに講演いただき、部員研修会を実施した。

大会終了後、茨城県営業戦略部プロモーションチーム渡邊一彦副参事を講師に迎え、「茨城県の魅力発信について」をテーマに講演いただき、部員研修会を実施した。

いばらきレディースカレッジ2023 受講者アンケート結果報告

令和5年10月24日及び令和5年12月6日の2日間、2講座を開催しました。

同カレッジは、女性部員の資質の向上と女性力の向上を目的に平成26年から開催しています。

第1講座では大井川和彦先生（茨城県知事）より「茨城のこれからの方角」ポストコロナ時代の茨城県政」という演題により、日本と茨城の課題を払拭すべく「活力があり県民が日本一幸せな県」の実現を目指した「県民幸福度No.1」政策について、力強く講話いただきました。

多くの生徒を牽引し、伝えてきたこと。若手の育成で大切にしていることについて講和をいただきました。同時に、県北地域の物産展も開催され、地域住民の方々に商工会女性部の活動に対する理解と、部員間の交流を深めることができました。

また、「いばらきレディースカレッジ2023」について、受講者のアンケートがまとまりましたので、その概要を報告します。

【第一問】受講者の年齢構成・70歳代が54%で最も多く、次に60歳以上・50歳代と続き、40歳以下は8%でした。

【第二問】受講者の構成内訳・女性部役員が41%と最も多く、次に一般部員35%・部員以外の商工会会員等は24%でした。

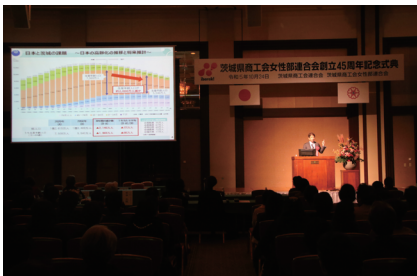
【第三問】セミナー参加の感想・全体を通して「とても役に立った」が62%を占め、次に「役に立った」が36%と、9割超の受講者が概ね役に立ったとの感想でした。

【第四問】女性部活動への参加状況・「よく参加している」が66%、「時々参加している」が23%と、全員の受講者が女性部活動に参加していることがわかりました。

【第五問】今回の講座の内容・全体を通して「とても役に立った」73%、「役に立った」26%でした。

【第六問】受講の目的・「教養・知識を深めるため」が40%と最も多く、次に「興味があったため」30%。「商工会の奨めがあったため」28%でした。

【第七問】今後希望する講義内容・「地域振興・まちづくり」20%と最も多く、「健康」19%、「経営・ビジネス教養・成功者体験」15%、「文化講演」14%とでした。



第1講座 大井川知事



第2講座 有國浄光先生



第2講座 会場風景



第2講座 県北物産展風景



第1講座 受講風景

第24回商工会女性部 全国大会inしずおか

本県から古谷さん(坂東市)が主張発表! …部員増強で常陸太田市、県女性連が 全国第1位受賞…



主張発表の様子



全国第1位茨城県商工会女性部連合会



常陸太田市商工会女性部の和田部長

本年10月18日から19日にかけて、静岡県内の「静岡県コンベンションアーツセンター」などを会場に、女性部員約2200名参加の下、同大会が開催された。本県からは143名が参加した。

1日目の大会では、静岡県副知事などの来賓祝辞のあと、全女性連各種事業表彰、全国6ブロックの女性部代表6名による主張発表大会が行われた。

表彰の部では、女性部員増強運動（加入促進強化期間）都道府県商工会女性部連合会の部・第1位に茨城県商工会女性部連合会、商工会女性部の部・第1位に常陸太田市、第3位に下妻市商工会女性部が入賞し、県女性連の宮本会長、常陸太田市の和田部長が登壇、表彰を受けた。

主張発表大会では、関東ブロック大会で最優秀賞に輝いた本県の古谷直美さん（坂東市商工会）が出場。「まちを楽しみ、ひとを楽しむ」持続可能な女性部へ」と題して、多様性を尊重し、誰もが輝ける持続可能な女性部として、新しい時代へ常にチャレンジを続けたいと力強く発表し、惜しくも最優秀賞は逃したものの優秀賞を受賞した。最優秀賞には、九州ブロックの小川博子さん（長崎県対馬市商工会）が輝いた。

続いて「脳から考えるやる気と熱意、そして加齢」をテーマに、薬学博士・東京大学薬学部教授の池谷裕二氏による基調講演、主張発表大会表彰式を行い、次年度開催地である三重県への引継ぎセレモニーのあと閉会となった。

なお、会場を移した交流会には、各都道府県女性連会長をはじめとする役員等が出席。懇親を深めながら情報交換を行うなど、終始和やかな雰囲気の中で終了した。

二日目は現地視察研修として、歴史とジオと伊豆コース、富士山本宮大社と製紙のまちコース、東海道五十三次の世界コース等7コースが計画され、各都道府県からの参加者が静岡県の魅力を満喫し、2日間の全国大会が幕を閉じた。

張り切り人 美



高橋恵美子です。
昭和40年代に先代が創業し現在に至るまで地域に根づく電気店として皆様にご利用いただいております。私が嫁いだ頃はメー

行方市麻生の国道355沿いで家電品販売(株)高橋電機を夫と二人で営んでいる

つくば市の中心地小野崎で「Gallery 彩花」を経営する海老沼彩花さん。創業18年目を迎えるギャラリーでは年間を通じて、陶磁器、アクセサリー、衣服等、近隣の作家の作品を展示販売しています。ギャ



ています。

海老沼さんのルーツは栃木県野木町、田舎に飽き足らず19歳で家を飛び出し上京、アパレル業界に就職、23歳で独立して千駄ヶ谷に会社を立ち上げました。その後40歳頃につくばに移住、EXPO'85の時に

ラリー営業の傍ら、日本を代表する陶芸家の作品を世界に紹介し、ニューヨークで陶芸コンテストに参加する等、国際的な活動もしています。

カーの系列店でしたが、お客様の多種多様なニーズに応えるため、アトム電器チェーン「アトム麻生店」として再スタートしました。まちの電気屋さんの強みは、アフターフォローの充実です。高い所の電球が交換できない、このコードどこに繋げるの？蛇口から水がポタポタ：等『でんき・住まい・暮らしのお困りごと解決応援隊』と



は語学力を活かし、外国人向けのホテルを経営するなど、アグレッシブに活躍してきました。(高野 培美 記)

して地域一番店に挑戦しております。家電もデジタル化が進みアナログ人間の私は四苦八苦です。(高橋 恵美子 記)



OGURA-YA

〒311-0105 茨城県那珂市菅谷 7050
TEL : 029-298-0301 HP : <https://ogura-ya.jp/>
定休日：木曜日・第2日曜

あんな店 こんな店



株式会社カジマ

東茨城郡大洗町磯浜町 816-1
電話番号：029-267-2118
URL : <https://www.kajima-crab.com>

「あなたの街の専門店」をキャッチコピーに創業90年。時計・メガネ・ジュエリー専門店の「OGURA-YA」をご紹介します。
3代目店主の古川弘恵さんは令和3年に父から事業を引き継ぎ、親子でお店を営んでいます。事業承継をした際に那珂市企業コーディネーターや商工会の支援を受け、補助金を活用し、外観も一新。一際目を引く看板にはメガネをかけた女性をイメージしたシンボルマークが描かれており、上品で洗練されたデザインとなっています。
弘恵さんは海外の滞在経験を活かし、おもてなしやマナー講座の事業やメガネ作製技能士の資格などを持っており、幅広い分野で活躍しています。1年ほど前からメガネ選びをアドバイザーとして「メガネサロン」を始め、似合うメガネを提案するだけでなく目の美容と健康に関するトータルアドバイスを行っています。
「先代が築いてきた地域の皆さまの交流の場」を大切に



に引き継ぎながら、新たな分野でたくさんのお客様と出会い豊かな気持ちで暮らすことのお手伝いができたらうれしいです。」と笑顔で対応していただきました。(福本 悦子 記)

大洗町でカニを中心とした水産加工を営むカジマ。2011年東日本大震災をきっかけに、地元の皆様との繋がりを育てる場を作りたいと「惣菜店カジマ」を開店。地域の模範となる台所を目指し手作り惣菜や、自社工場で製造するカニや冷凍品を販売中。一番人気はじゃが芋とずわいがにで作ったオリジナルの「ずわいがにたつぷりコロッケ」。2018年全国コロッケフェスでグランプリを受賞した看板商品です。
2017年、同町で飲食店「かにと海鮮丼かじま」を開店。港町ならではの新鮮な魚介、地元のお客様はじめ多くの皆さまに愛されるお店を目指しています。2020年に「ゆっくら亭かじま」を開店。井ぶりや定食、麺類、スイーツ、まで幅広いメニューを取り揃え、広々とした店内でお座敷席・テーブル席を完備し、お子



様連れや団体様まで様々なシーンでご利用頂けます。また、ご自宅でもかじまの味を堪能頂けるよう通信販売で購入可。多くの皆様とお会いできる事を楽しみにしております。(梶間 桂子 記)

潮来ブギウギウキウキワクワク

潮来市商工会女性部

4年ぶりに行動制限が解除された今年。普段静かな街、潮来も賑やかを取り戻す事が出来た1年間でした。6月、潮来市が1年で一番賑わうあやめ祭り。例年開催会場であるあやめ公園において、女性部も地元の名産品やソフトクリームなどの飲食の販売をし



4年ぶりに行動制限が解除された今年。普段静かな街、潮来も賑やかを取り戻す事が出来た1年間でした。6月、潮来市が1年で一番賑わうあやめ祭り。例年開催会場であるあやめ公園において、女性部も地元の名産品やソフトクリームなどの飲食の販売をし

気溢れた1か月となりました。10月、山梨日帰り遠足。初めてのシャインマスカット狩りでは、贅沢にシャインマスカットをほおぼり、昼食はフランス料理に舌鼓。帰りの桔梗屋では沢山お土産も買い出し1日を過ごす事が出来ました。中旬には青年部主催のハロウィンパーティーにも参加し、人生初の仮装に皆さん年



正に、街も人も密である事は心を潤わすものです。コロナ禍が明け、皆が密に行事をこなし、潮来市の活性化に一役買う事ができた事、部員一同もブギな感じでワクワクウキウキな1年を過ごした事は、来年への活力になったのではないのでしょうか。来年度も躍ろう！な感じで盛り上げていきたいですね。(山沢 敏子 記)

地場産の具材を使い、笑顔の見える町おこしを!

茨城町商工会女性部



私達の住む茨城町では、毎年いばらきまつりが開催されます。商工会女性部も活動の一環として、運営協力します。前日から準備です。私はきんぴらの係でゴボウを切るのも大きさが揃いですが、それがまた味が良く大好評です。栗おこわは、栗が出来る九月に集まって皮むきをします。ワイワイ色々な話をしながら楽しくやっています。五目おこわ、きんぴらの根菜類をいっぱい入れた美味し



には行き渡りませんの、整理券を配ろうかと試行錯誤しながら一生懸命作って売れました。新入部員若手二名の強力な参加もあってそれはそれは楽しいいばらきまつりでした。(村田 節子 記)

3年ぶりの観劇会を開催!

東海村商工会女性部



当女性部では、新型コロナウイルスが流行するまでは毎年のよう

うやくアフターコロナに入ったということ、3年ぶりに東京方面への観劇会を実施することができました。当日は20名の方に参加をいただき、会場に向かう道中は、「みんなバスに乗って出かけるのは久しぶりだね!」「東京に来るのなんて何年ぶりだろう!」など、賑やかな話し声が満ちていました。

観劇した演目は劇団四季の「ライオンキング」。25年もの間、グランドスタンダードのステージにみなが満足されたよう



ていけたらと思っています。(橋本 敏子 記)

トレンデイ

~女性部が目指すもの~

第9回かっぱの里『うしくのひなまつり』

牛久市商工会女性部



牛久市商工会女性部は、うしくのひなまつり実行委員会への協力とし、第9回かっぱの里『うしくのひなまつり』を2024年2月17日(土)~3月3日(土)の期間に開催した。会場は、牛久市柏田町の「中央生涯学習センター」。2階展示ホールにて創作雛を展示している。目を引くのは、壁に飾られた庄巻のつるし雛。中には、陶器のような素材・折り紙・昔話のストーリーの雛・干支の動物で作った雛など、毎年、テーマを決めて作るよう



は、大正琴・オカリナの演奏・珍しいところでは香道なども体験出来る。雛あらいの配布なども行われた。このひなまつりは、牛久市の一花工房の上村紀代子さんが細工講師を務める、つるし雛や創作人形

「にいはい」のマルシェで地域を活性化

土浦市新治商工会女性部



この事業は、部員の発案で「新治を活性化したい!」「新治の良いものを自分たちが発信する!」をコンセプトに、意欲ある人達に呼びかけ平成31年4月に商工会駐車場を会場に「にいはい」のマルシェとして開始しました。最初

は、キッチンカーを含め10店舗ほどの開催でしたが、第6回目の今年は、26店舗まで増えたため会場を検討し、新治の観光拠点となっている「小町の館」にて小町の館主催の「小町ふれあいまつり」との共催で実施しました。チラシやポスター、のぼりを作り、部員全員で、施設や事業所・近隣のお友達などへ周知をしました。当日は、地域内外から多くのお



試作・試食を繰り返し完成した「そば粉ゼ」をお楽しみに、皆様のご来場お待ちしております。(小見 ひろみ 記)

「花いっぱい」そして「パワースポットで健康長寿

八千代町商工会女性部



12月に「花いっぱい運動」を開催しました。こちらの行事は創立4年から継続していて、八千代町が花であふれるようにと企画致しました。初めのうちは100鉢販売から始まり年々少しずつ増やし、今年はポインセチア

400鉢を準備し完売しました。町の至るところに花を届けるといイベントですが、好評をいただき販売前からも予約をいただける恒例の行事となっています。1月25日(土)26日(日)に新年懇談会を兼ねて視察研修会を開催しました。宿泊先は熱海温泉、熱海と言えは名所の「寛一お宮の像」の前で記念写真を撮り、来宮神社では本州1位の巨樹「御



神木大楠」のパワースポットで健康長寿を願い参拝してきました。夜の懇談会では、部員の方の素敵な美声とフラダンスなどが披露され、大いに盛り上がりました。久しぶりにコロナ規制を気にすることなく開催してきて、一層の部員同士の親睦が図れました。(仲内 京子 記)